

鈴木市長の平成二年度施政方針

個性豊かな活カあるまちづくりを

鈴木清見市長は、三月定例市議会にて平成二年度に向けての施政方針演説を行いました。

この中で、本年度は、変革する時代を的確に見極め、二十一世紀へ向けて富士市の発展をより確かなものとするため、「市民に開かれた市政の推進」「市民参加による健康で文化的なまちづくりの推進」「市民の自由意思に基づく生涯学習の推進」「富士・愛鷹山麓地域の自然環境の保全と適正な活用」「行財政運営の効率化」の五点を基本理念とし、市政運営を進めていきたいと強調しました。今回は、市長の施政方針演説の概要と平成二年度予算のあらましを紹介します。

市民に開かれた

市政の推進

近年、情報化の進展や市民の価値感の多様化、権利意識の高まりの中で、市政への市民参加を促進する体制づくりが求められています。

本市はこれまで、行政と市民の

相互理解を深めるとともに、市政への市民参加を促進するため、市民相談や広報ふじなどによる広報広聴活動が進められてきました。情報化社会が進展する中で、市民の行政に対する要求は、複雑多様化し、よりタイムリーな行政情報の提供が求められています。このため、新年度はなお市民との対話を進める一方、市民への的

＜施政方針演説を行う鈴木市長



確な情報を提供するため、新たに情報公開の一環として公文書公開制度を創設するなど、自由、公正な意思を反映できる体制のもとに開かれた市政を展開し、すべての市民がみずからのまちを誇りうるまちづくりを進めていきます。

市民参加による健康で

文化的なまちづくり

まちづくりの担い手は市民であり、そこに住む人たちの豊かな発

想をまちづくりに反映していくことが大切です。

個性的で魅力あるまちは、人々の長い歴史の中で形成されてきたものであり、その地域に根ざした歴史、風土、人情などの文化や自然を生かしてこそ、健康で文化的な真のまちづくりが達成されるものと考えます。

幸い、本市には各地区にまちづくり推進会議が設置されており、市民参加によるまちづくりの気運が醸成されつつあります。

私は、こうした気運をさらに高め、参加意欲を啓蒙する意味で新年度は、各地区のまちづくり事業に対する補助制度を新設いたします。

また、地域において長年にわたる、コミュニティ活動やまちづくり活動などのリーダーとして活躍し、市の発展に貢献された方々の功績や市民の善行を表彰するとともに、その活動を奨励するため、新たに地域社会貢献者褒賞制度を創設するなど、市民参加による健康で文化的なまちづくりをさらに推進してまいります。

市民の自由意思で

生涯学習を

科学技術の発達や自由時間の増大の中で、市民の学習に対する意欲は年々高まっています。

申すまでもなく、生涯学習は、市民一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るため、自分に適した方法で生涯を通じて行う学習であり、



▷開学を間近に控え工事も最終段階の常葉学園富士短期大学

